

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	創意と工夫にあふれた教育の推進	施策No	04-02	部課名	教育委員会事務局指導室
				課長名	津野 内線 3385

関連部課名	教育委員会事務局学務課				
-------	-------------	--	--	--	--

行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市		
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的  
学校図書館の充実やICT機器の活用、校長の裁量権を生かした特色ある学校づくり等を進め、これからの変化の激しい社会をたくましく生き抜くために必要な力を養う。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	「生きる力」の習得度	3.47	3.54	3.55	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？
②	子育て・教育環境の満足度	3.46	3.54	3.59	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？
③	文化的寛容性	2.63	2.59	2.68	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
①	授業でタブレットPCを効果的に活用している教員の割合(%)	77.0	80.0	83.0	85.0	90.00	荒川区「タブレットPC活用状況調査」より(平成27年度から集計)
②	英語が好きな児童生徒の割合(%)	79.5	80.0	80.5	81.0	85.00	「英語教育についてのアンケート」より
③	先生や友達と楽しく過ごしている児童生徒の割合(%)	90.0	91.2	91.5	91.7	90.00	「学校関係者評価」より
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
	給与関係費	29,799	41,915	12,116	地方税	0	0	0	
	物件費	1,075,488	1,104,831	29,343	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	108	93	▲15	都支支出金	30,607	11,528	▲19,079	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	49,711	51,252	1,541	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	30,607	11,528	▲19,079	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,586	2,315	729	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,126,085	▲1,188,878	▲62,793	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	1,156,692	1,200,406	43,714	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,126,085	▲1,188,878	▲62,793	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,126,085	▲1,188,878	▲62,793	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	684	1,515	831	
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	4,794	10,687	5,893	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	4,794	10,687	5,893	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	5,478	12,202	6,724	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲5,478	▲12,202	▲6,724	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲5,478	▲12,202	▲6,724	
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
	資産の部合計	0	0	0					

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として物件費の割合が高くなっており、主に教育用コンピュータ運営費における委託料や賃借料が占めている。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○各校が更に特色ある教育活動を進めるため、平成20年度から、各小・中学校において校長の裁量で予算を執行できる「学校パワーアップ事業」を実施し、学校を支援している。</p> <p>○平成30年5月の「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を受けこれまでの学校図書館における取組やその精神を未来に繋げるため、読書を愛するまちを展開する取組を推進している。</p> <p>○情報化社会の急速な進展に対応するため、平成21年度に電子黒板、平成26年度に区立全小中学校へのタブレットPC導入等のICT機器を利活用しながら、学習効果の高い、分かりやすい授業を展開している。タブレットPCを効果的に活用している教員の割合は83%であり充実している。</p> <p>○英語を活用した国際コミュニケーション能力を身に付けさせるため、小学1年生から「荒川区小学校英語科指導指針」に基づき、小学校卒業時まで日常的な場面で自分の思いや意見を英語で伝え、簡単な英語の読み書きができることを目標に英語教育を実施している。</p> <p>○これまでに整備したICT機器のインフラは、新型コロナウイルス感染症の対策においても一定の効果を発揮している。</p>
課題	<p>○「学校パワーアップ事業」により推進されている教育活動について、更に地域や保護者に対して定期的に発信する制度を整理し、学校の魅力を十分に伝えていく必要がある。</p> <p>○児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成に向けて、学校図書館の更なる活用が求められている。また、学校図書館において「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、読書活動推進のための事業の実施や区内公共施設と連携した読書環境を整備する必要がある。</p> <p>○全国に先駆けて取り組んだICT機器の活用成果を生かし、授業改善を図るとともに、児童生徒がICT機器を家庭に持ち帰り、家庭学習等で活用することを想定し準備を進めていく必要がある。また、臨時休業におけるビデオ会議ソフトを活用した双方向によるオンラインホームルームの実施を推進していく必要がある。</p> <p>○今後、グローバル社会をたくましく生き抜くための学習として、タブレットPCを活用した英語学習や英語教育における小学校と中学校の円滑な接続を目指した学習活動が必要である。</p> <p>○プログラミング学習の内容を充実させ、さらに論理的思考力の育成を図る必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策などの不測の事態に備えるために、今後もICT機器・教材の効果的な活用が求められる。</p>
今後の方向性	<p>○各学校が特色ある教育活動を更に充実させるため、ヒアリングや学校訪問などを行い、効果的な予算執行や事業検証、情報発信の好事例を広め、各学校から地域や保護者に情報を発信していく。</p> <p>○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言の趣旨を踏まえ、学校図書館の活用について、司書教諭と学校司書の更なる連携を図り、学校図書館の三つの機能（読書センター、学習センター、情報センター）を充実させ、全ての教科等の学習と関連した取組を進める。</p> <p>○小・中学校で、「21世紀型能力」の中の情報活用能力等を高めるよう、ICT機器の更なる活用を推進する。また、児童生徒がICT機器を家庭に持ち帰り、家庭学習等での活用を推進していく。プログラミング学習や問題解決学習等による論理的な思考を育むよう、工夫した授業の取組を推進していく。</p> <p>○英語の「聞く、話す、読む、書く」の4技能がバランスよく身に付く教育を実施する。さらに、学校に配置している外国人指導員や日本人英語教育アドバイザーを更に活用・充実させ、日常生活の中で「いつでもどこでも英会話」ができる英語環境をさらに充実させていく。</p> <p>○ICT教材等について、効果的なものを導入できるよう今後の動向に注視していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川区学校教育ビジョンに掲げた、「未来を拓きたくましく生きる子どもを育成する」ため、子どもたちの学ぶ力の向上を図るとともに、地域に信頼される特色ある学校づくりを重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
就学・学校選択	13-03-07	6,571	20,438	1,893	2,187	推進	継続	学校選択制度の導入から小学校17年、中学校18年が経過し、対象者の多くが制度を支持しているほか、制度の定着が図られている。引き続き制度の向上に努める。
マーチングバンド運営	13-03-18	9,258	10,454	8,869	8,832	推進	推進	児童の情操の育成、パレード等の地域活動への寄与など必要性が高い。
ブラスバンド運営	13-03-19	13,428	14,662	13,039	13,040	推進	推進	生徒の情操の育成、パレード等の地域活動への寄与など必要性が高い。
教育用コンピュータ運営費	13-03-21	998,096	1,027,272	981,332	1,012,671	推進	推進	荒川区はこれまでもICT整備について、先進的な取り組みを行ってきた。タブレットPCや電子黒板といったICT機器について、引き続き、整備と活用を推進していく。
小学校英語教育の推進	13-04-11	50,166	48,485	47,316	46,945	重点的に推進	重点的に推進	「荒川区学校教育ビジョン」において国際コミュニケーション能力の育成を重点項目に掲げており、教員の一層の授業力向上により、英語指導の充実を図る。
中学校英語教育の充実・強化	13-04-12	29,439	30,186	27,097	28,647	推進	推進	「荒川区学校教育ビジョン」において国際コミュニケーション能力の育成を重点項目に掲げており、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の育成を推進していく。
研究指定校事業（国・都）	13-04-15	11,701	11,895	9,460	10,355	継続	継続	研究指定校が先進的な研究に取り組むことにより、区全体に成果を普及し、教育水準の向上を目指す。
人権尊重教育推進校	13-04-16	1,685	2,142	1,278	1,373	継続	継続	互いに認め合う教育の一層の推進を図り、児童生徒の人権教育のさらなる向上を目指す。
学校パワーアップ事業（創造力あふれる教育の推進）	13-04-26	34,652	32,471	33,635	30,713	継続	継続	各学校が、学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業展開をするよう促す。
幼児期からの芸術教育の充実	13-04-36	1,692	2,401	1,387	1,412	継続	継続	幼児期における芸術教育について、東京藝術大学と連携して開発する。
合計		1,156,688	1,200,406	1,125,306	1,156,175			